



2015 紀の国 わがやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判(副)委員長
氏名: 谷口 和久
確認: 済

バレーボール競技 戦評用紙

種別	精神障害者の部
----	---------

会場	田辺市体育センター
----	-----------

平成 27 年 10 月 25 日 日 曜日 第 2 日目

A コート 第 4 試合

1回戦 交流試合 準決勝 3位決定戦 決勝

◎試合結果

勝利チーム	}	25	-	22	}	0	青森県
大阪府 2		25	-	21		0	青森県
都道府県 指定都市名			-			都道府県 指定都市名	

【審判員】

主 審: 谷口 和久 副 審: 田和 憲司
 記録員: 前地 悠佳里 A・S: 中島 勇貴・西田 拓大

【戦 評】

記載者: 坂井 瑞輝 (戦評委員)

前日勝利している大阪は、スタートに2連続失点を許すが大阪4番北川選手のサービスエースにより6-2とリードし流れを渡さなかった。そこから一進一退の攻防を繰り広げ、青森5番棟方選手、11番太田選手、両レフトのスパイクが決まり、1点差まで詰め寄るが大阪2番松岡選手の高いブロック、3番立岡選手のバックアタックが要所を締め、25-22で大阪がセットをとる。

第2セット、後がない青森は、5番棟方選手、4番安田選手のサービスエースで4-2とリード。しかし、大阪の堅実なレシーブを崩しきれず、6-2と逆転を許し、青森は1セット目に引き続き5番棟方選手、11番太田選手を軸に攻める。対する大阪は2番松岡選手が躍動し、フロント、バックからスパイクを決める活躍。大阪はメンバーチェンジを行い12番小川(芽)選手をピンチサーバーで投入、青森を崩して2連続サービスエースを取る。

流れを完全につかんだ大阪は、最後3番立岡選手がスパイクを決め、25-21とゲームを制した。

150

300

450